

1. 実践研究校名

ふりがな	おかやまけんつやましりつちゅうせいしょうがっこう
学校名	岡山県津山市立中正小学校

2. 年間事業経過

月	取組の内容		
	校内における取組	主催研究会・発表会等	先進校視察・協議会等
4月	年間研究計画立案		
5月	授業観察 授業改善 校内研究授業指導案（5年・6年）検討		
6月	校内研究授業5年・6年 久米中学校区小・中学校に公開 指導助言 岡山県総合教育センター信宮 誠 指導主事 津山市教育委員会 赤畑さとみ主幹	授業公開	
7月	1学期実践のまとめ 授業改善 評価についての研修		
8月	評価についての研修 津山市学校教育研究センター外国語活動部会夏季研修会参加 （中国短期大学 名合智子先生） 久米中学校区英語活動連絡会（情報交換） 公開授業指導案検討 ALTとの2学期授業の打ち合わせ		津山市学校教育研究センター 外国語活動夏季研修会参加 岡山県総合教育センター外国語 活動研修講座と久米地区小 学校で実践発表 第1回研究協議会参加
9月	研究発表会案内発送 公開授業指導案検討		
10月	公開授業指導案検討 1日参観日で保護者・地域に授業公開 久米中学校1年生英語科授業参観 研究発表会要項作成		
11月	研究発表会要項作成 ETとの連携授業打ち合わせ 公開授業（兼：久米地区小中連携事業 津山市小学校英語活動 ・中学校英語科担当者会） 指導助言 岡山県教育庁指導課 西田 寛子指導主事 岡山県総合教育センター 信宮 誠 指導主事 津山市教育委員会 赤畑さとみ主幹	公開研究発表会	他校研究会視察（真庭市立 川上小学校・美咲町立柵原 東小学校）
12月	2学期実践のまとめ		
1月	研究成果発表会資料作成 指導案集作成		市教育委員会主催研修会（英 語活動担当者会）で実践発表 県総合教育センター研究成果発表 会（第2回連絡協議会）で 研究実践発表
2月	報告書作成 年間計画の見直し		
3月	研究のまとめ作成 評価についての確認		
【その他の取組】			

3. 取組の具体的な内容 *重点的に取り組んだ事項 (e, 他の小学校や中学校等との連携)

<p>a 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材（「英語ノート」、 「付属CD」（音声教材）、「英語ノート」指導資料及び「英語ノート」準拠デジタル教材）を活用した授業の実践</p>
<p>○「英語ノート」を中心とする文部科学省が作成した小学校における外国語活動のための教材を有効に活用した担任主導の授業づくりを実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年及び第6学年の外国語活動の年間指導計画に沿って、毎時間「英語ノート」を活用した授業案を作成し、授業を行った。今年度は、職員が5年部会、6年部会のいずれかに属し、研究授業の指導案作成、教材づくり等を行い、全員で研究に取り組めた。 ・「英語ノート」の特徴について研修し、単元や授業の構成の中で、4つの言語活動（新しい表現を聞く活動・繰り返して言い、音に慣れる活動・記憶したり自分のものにしたたりする活動・自分の意志で言葉を選んで発話する活動）を効果的に取り入れることを意識するようになってきた。 ・「英語ノート」準拠デジタルコンテンツ教材等の効果的な活用場面について研究し、効果的に活用した。 ・授業公開によって津山市内の外国語活動の研究と授業改善のために貢献することができた。
<p>b 外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみなど、コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究</p>
<p>○外国語活動の評価の在り方について検討し、授業づくりに活かす。評価の目的を本校では、児童の実態の見取りと「授業改善のため」と捉えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省から示された「英語ノート」指導資料の評価規準を整理して、単元ごとの「評価規準表」を作成し、指導案づくりや授業後の反省に活かすようにした。 ・文部科学省から示された「評価の観点及び趣旨」をもとに「評価基準」（5・6年生）を作成し、児童の学習状況を把握しやすくした。 ・「評価規準表」「評価基準」を作成することで、外国語活動のねらいが明確になり、指導者がねらいに応じた授業をめざすようになった。 ・評価は、「行動観察」「発表観察」「英語ノート点検」により行った。また、「振り返りシート」の内容を検討し児童が記入しやすいものに改善した。
<p>c 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、単元ごとに児童に「振り返りシート」（自己評価・相互評価）を記入させ、児童の実態把握に努めようとした。しかし、十分な分析ができていないので、児童の興味・関心等の追跡や学習状況の変容の把握、授業改善に活かすまでに至っていない。また、文部科学省が実施するアンケート等の調査は実施していない。 ・「振り返りシート」の中に「言語や文化に関する気づき」について児童の記述がほとんど無かった。自己評価の際の観点に加える等工夫するとともに、指導者が授業づくりの際に意識する必要がある。
<p>d 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方等、英語活動の担当者を中心として部会や全体会で、研修を行い指導力の向上を図った。 ・津山市学校教育研究センター主催の研修会等に参加して、指導力の向上を図った。
<p>e 他の小学校や中学校等との連携</p>
<p>○久米中学校区の他の小学校や中学校との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携 <ol style="list-style-type: none"> ①6月、10月の2回、久米中学校の英語科の教員に、5・6年生の外国語活動の授業を参観してもらい児童や外国語活動の実態を把握してもらった。 ②11月の研究発表会と前時の授業では、久米中学校の英語科の教員をETとして迎え、HRTといっしょに授業を行った。児童は中学校をより身近に感じる事ができた。 ③10月に久米中学校の英語科の授業を参観した。中学校英語の授業の様子を知ることができた。 ・小・小連携 <ol style="list-style-type: none"> ①本校職員が久米中学校区の他の小学校の外国語活動の校内研修会に講師として招聘され、「英語ノート」やゲーム等の効果的な使い方について研修した。 ②久米中学校区の他の小学校で行われる英語活動の公開授業の指導案づくりに参加したり、同じ指導案で本校で授業をしたりして、互いに学び合う関係ができた。

f 学級担任等を補助するためのA L Tや地域人材等の外部人材の効果的な活用

- ・昨年度と同じA L Tを講師に依頼したので、打ち合わせのとき、授業の進め方について共通理解が図りやすかった。また、児童理解にも優れたA L Tだったので、授業ではもちろん授業以外でも、A L Tとコミュニケーションを楽しめた。
- ・事前に打ち合わせを行い、授業後もいっしょに評価をし、連携を十分に取しながら研究を推進できた。

g その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）

- ・研究組織の中に5年部会・6年部会を設置し、教職員全員がどちらかに所属し、外国語活動の授業研究、教材準備を行った。
- ・保護者や地域へは、外国語活動の様子を学校だよりや学級通信等で発信した。また、学校公開日に授業を参観できる機会をもった。

4. 年間指導計画及び指導案

別添資料参照。

5. 取組の成果等

- ・小学校外国語活動の在り方や「英語ノート」の使い方についての校内研修を行ったり、5年生・6年生の指導案づくりを全員で体験したりすることで、外国語活動に対する教職員全員の意識が高まった。
- ・外国語活動の指導案や様式を電子データで保存したり、教材を専用の戸棚に保存したりすることで、どの学年も担任が自分で指導案を作成しやすい環境が整った。
- ・学習過程をパターン化し、大まかな本時の学習の流れを提示することで、児童が見通しをもって学習に取り組めるようになった。
- ・必然性のある言語の使用場面を設定し、コミュニケーション活動の中で外国語を体験させることにより、児童の相手に情報を伝えようとする態度や、相手の話を聞こうとする態度、コミュニケーションそのものを楽しもうとする態度が、少しずつではあるが高まってきた。
- ・「英語ノート」補助教材（CD、I C T等）を授業の中で活用することで、担任主導の授業が以前より楽に行なえるようになってきた。
- ・「評価規準表」「評価基準」を作成することで、外国語活動のねらいが明確になり、ねらいに応じた授業をめざすようになった。
- ・昨年度から実施している久米中学校区の英語活動担当者会では、情報交換や教材開発を行ってきた。お互いに学区内の他の小・中学校の外国語活動、英語科の授業参観をすることで、他の学校の実態を知ることができた。中学校の英語科の先生を迎えて行った6年生の授業では、児童が中学校をより身近に感じられるように働きかけることができた。

6. 次年度以降の継続・展開

- ・研究授業指導案と研究成果を冊子にまとめ、市内小中学校等へ配付する。
- ・津山市教育委員会、実践校のホームページで研究の内容について情報公開する。
- ・本年度作成した「評価規準表」「評価基準」を本校の児童の実態に応じたものにさらに改善していく。
- ・小中連携・小小連携については、まだまだ情報交換の段階であるので、さらに連携を深めていく取組をしていく。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 数で遊ぼう

(第 1 時)

第 5 学年

2 使用教材 : 英語ノート L 3

(英語ノート 16～ 17 ページ)

3 本時のねらい : ・世界の様々な数字の言い方(1～10)や数え方があることに興味を持つ。
・1～20までの数字を聞いたり言ったりする。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。 ● 歌 (Let's start English class)		△ CD
Review & Warm up	● 1～10までの数を言う(ボールパス・ゲーム) ● 英語のじゃんけんのかげ声を思い出し、じゃんけんゲームをする。		△ 柔らかいボール △ おはじき
Activity	● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">いろいろな国の数の数え方を知ろう。</div>		
Activity	● 世界のじゃんけん聞き取りクイズをする。 ○ CDを聞かせ、どこの国のじゃんけんかを予想させる。 ○ HRTの指示した国のじゃんけんを、ALT対児童で数回行う。 ○ 一回ごとに、勝ち残っている児童の数を英語で数える。		△ CD △ じゃんけんカード ※ 負けた児童は着席させる。
Activity	● 世界の数え方聞き取りクイズをする。 ○ CDを聞かせ、どこの国の数え方を予想させる。 ○ 特徴など、気が付いたことがあれば発表させる。 ○ ALTの数え方を見て、日本での数え方と違うことに気付かせる。 ● ALTの後について英語で数を数える。 ● 1～20までの数を使って、キー・ナンバー・ゲームをする。		△ 英語ノートp.17 CD △ 数字カード ※ 予想をつけさせてから、再度CDを聞き、番号を書かせる。 ◎ 世界の様々な数の言い方や数え方に興味をもつことができたか。 ◎ 1～20までの数字を聞いたり、言ったりしようとしていたか。
Closing	● 振り返りをする。		※ 児童の英語を使おうとする態度面についてよかったところを言う。

5 評価規準

・世界の様々な数の言い方や数え方に興味を持つことができたか。
・1～20までの数字を発話しようとしていたか。

6 指導後の反省点等

・授業内容を精選するか2時間に分ける(国際理解とコミュニケーション活動)必要がある。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 数で遊ぼう (第 3 時)

第 5 学年

2 使用教材 : 英語ノートL3 (英語ノート 19～ 20 ページ)

3 本時のねらい :
 ・数を尋ねたり, 1から20までの数で答えたりする。
 ・積極的にゲームに参加する。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。		△ テレビ・コンピュータ・デジタル教材
Review & Warm up	● “Ten Steps”(1～10)を歌う。 “Ten Steps”(11～20)を歌う。		※ ジェスチャー・手拍子をつけたり, 指定された数を発音しなかったり, と様々な歌い方の指示を出す。
Activity I	● 本時のめあてを知る。 20までの数をたずねたり答えたりしよう。		※ 13以降は一の位から書くようにし発音の特徴を意識させる。
	● 1～20をボードに書いているのを見ながら唱える。 ● 全員で数字ピラミッド・ゲームをする。 ○ ゲームの仕方をALTとデモンストレーションで示す。		※ 同じ人とは2回までしか対戦できないことを確認する。
Activity II	● グループでスネークス・アンド・ラダーズ・ゲームをする。 ○ ルール説明を, デジタルコンテンツを使って行う。 ○ 言い方に自信のない数字がないか, ゲームを始める前に再度確認し, 尋ねさせる。		△ ゲームシート・消しゴム △ デジタル教材 ※ 「言えなかったら元に戻る」というルールをおさえることで, 自分から言えるようになろう, 覚えようという意欲を持たせる。 ◎ 1～20までの数字を聞いたり言ったりして, 積極的にゲームに参加しているか。
Closing	● 振り返りをする。		※ 児童の英語についてよかったところを言う。

5 評価規準

・1～20までの数字を聞いたり言ったりして, 積極的にゲームに参加していたか。

6 指導後の反省点等

・“Ten Steps”は, 初めからジェスチャーをつけて歌わせると, ジェスチャーに気をとられてしまい, 全く歌っていない児童が多かった。まずはしっかり歌わせて, その後ジェスチャーをつけさせるようにする。
 ・数字ピラミッド・ゲームはデモンストレーションで意識させていたので, 全員日本語ではなく英語でやり取りをすることができていた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 外来語を知ろう

(第 1 時)

第 5 学年

2 使用教材 : 英語ノート L6

(英語ノート 36~37 ページ)

3 本時のねらい : ・外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容 ○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。 ● 歌 (Let's start English class)	△ C D
Review & Warm up	● 絵カードを使ってキー・ワード・ゲームをする。 ○ ゲームのやり方をデモンストレーションで示す。	△ テレビ・コンピュータ・デジタル教材 △ 絵カード (外来語になっているもの・英語ノートp. 25)
Activity I	● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">外来語とそのもととなる語の発音を比べよう。</div> ○ Warm upで扱った絵カードの発音が、外来語ではもとの英語と発音がちがうことに気付かせ、他にも同じようなものがないか、グループで探させる。 ● グループで外来語を出しあい、紙に書き出す。 (テレビ・オレンジ・バッグ・ティーシャツ・バレーボールなど) ● グループごとに見つけた外来語を発表する。 ○ 児童が答えた外来語の絵カードがあれば、黒板に貼っていく。 児童から出なかったものは、絵カードを見せながら紹介する。	◎ 外来語とその由来の語との発音の違いに気付いたか。 △ 英語ノートp. 36, 37の絵と同じ絵カード △ メモ用紙 ※ 外来語にはもとの語を省略したり、もとの意味と違うものになったりしているものがあることや、もとの語が英語以外のものもあることに気付かせる。
Activity II	● A L Tの発音を聞いて、英語ノートp. 36, 37の絵を指差す。 ○ 児童が英語ノートの絵をさし終わったのを確かめてから、黒板の絵カードを指し示し、児童がその単語を確認できるようにする。 ○ 児童が外来語とそのもとの英語の発音が違うことに気付けるよう違いを意識して発音する。 ● 英語ノートp. 36の絵を使ってキー・ワード・ゲームをする。 ○ ゲームの仕方をデモンストレーションで示す。 ● チャンツ“ライオンじゃなくてlion”を言う。 ○ 英語がもとになっている外来語がたくさんあること、この単元でいろいろな外来語を扱ったチャンツに挑戦することを伝える。	△ 英語ノート △ デジタル教材 ※ 英語と外来語との違いに気をつけて発音しているか。 △ C D
Closing	● 振り返りをする。 ○ あいさつ	※ 児童の英語を使おうとする態度や英語についてよかったところをほめる。

5 評価規準

- ・ 外来語は様々な国から日本に伝わった言葉であることを知り、発音に違いがあることに気付いたか。
- ・ 英語と外来語との違いに気をつけて発音しているか。

6 指導後の反省点等

- ・ 児童に外来語と古くからの日本語との区別がつきにくくなっていて、カタカナで書くかどうかを判断規準の1つに挙げたが、動物や野菜の名で迷うことがあった。発音の違いはよく理解していた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : クイズ大会をしよう (第 4 時)

第 5 学年

2 使用教材 : 英語ノート L7 (英語ノート 49 ページ)

3 本時のねらい : ・What's this? を使ってクイズ大会をする。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting Review & Warm up Activity I Activity II Closing	○ スモールトークをする。 ● 歌(Let's start English class) ● チャンツ(CD51 What's this?) ● 場所カルタ ● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">What's this? を使って クイズ大会をしよう。</div> ○ クイズの仕方をHRTとALTでデモンストレーションする。 What's this? It's a ~. That's right. Hint, please. ● グループに分かれて、練習をする。(3グループ) ・ What's this? ・ It's a ~. ・ ヒントの練習 It's ~. ・ ほめ言葉も使う。(Great.Good job. etc) ● グループごとに発表する。 ・ 写真を見せ“What's this?”と尋ねる。 ・ わかった児童は“It's a ~.”と答える。 ・ ヒントがいるときは“Hint, please.”と尋ねる。 ・ 正解したら“That's right.”と答える。 ・ 状況に応じてほめ言葉も使う。 ● ALTの先生からのクイズに答える。 ・ これまでに使った表現を確かめながら、全員でクイズを楽しむ。 ● 振り返りをする。 ○ あいさつ	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	△ CD △ テレビ・コンピュータ・デジタル教材 △ 場所(教室)カード ※ ヒントの尋ね方をHRTとALTでやってみせる。 ※ 本時のコミュニケーションに必要な表現を練習する。 ※ 答えるとき、言い方が分からないものについては、日本語でよいことを伝える。(HRTがALTに尋ねる。) ◎ What's this? It's a ~.の表現を使い、質問したり答えたりしているか。 <行動観察> ◎ クイズの問題を聞き、進んで質問したり答えたりしようとしているか。 <行動観察> △ テレビ・デジタルカメラ ※ 操作は、HRTがする。 △ クイズ用ケース △ 絵カード ※ 児童の英語を使おうとする態度や英語についてよかったところをほめる。

5 評価規準

- ・“What's this?”“It's ~.”の表現を使い、質問したり答えたりしているか。
- ・クイズの問題を聞き、進んで質問したり答えたりしようとしているか。

6 指導後の反省点等

・クイズ形式だったので、意欲的に取り組むことができた。ヒントを考える中で、必要に迫られているいろいろな単語が出てきたが、ALTに教えてもらい意欲的に使おうとしていた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 時間割を作ろう (第 2 時)

第 5 学年

2 使用教材 : 英語ノート L 8 (英語ノート 53 ページ)

3 本時のねらい : ・教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。

4 本時の展開

学習過程 (時間)	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。		
Song	● 歌 (Let's start English class)		△ CD
Review & Warm up	● カードタッチ・ゲームをする。 ○ ALTの言う教科名をリピートしながら、英語ノート巻末付録の教科絵カードをリズムにのって順にタッチするように指示する。 ● ALTの言う教科の絵カードをはさみで切り取る。		△ 英語ノート巻末付録(教科名) △ 教科絵カード △ はさみ
Activity I	● 本時のめあてを知る。 教科名や曜日を使ってゲームをしよう。 ● ALTの言う教科を聞いて、それが何曜日の予定かを答える。 ○ HRTとALTでデモンストレーションする。 ○ [Let's Listen] の仕方を説明する。 ● ALTの読むスクリプトを聞き、聞き取った教科名を発表する。 ○ できあがった時間割を確認する。		※ ヒントの尋ね方をHRTとALTでやってみせる。 ※ クラスの時間割の中からある曜日を選び、教科カードをALTに示す。 △ 英語ノート・巻末付録(教科絵カード) ※ シートの曜日とすでに書かれている教科名とを確認する。 △ テレビ・デジタル教材・コンピュータ
Activity II	● チェーン・ゲームをする。 ○ “What subject do you like?” “I like ~.” 使ってチェーン・ゲームをすることを話す。 ○ 慣れてきたら、前の人か答えた教科に自分の好きな教科を加える“記憶チェーン・ゲーム”をするように話す。 ● グループで順に“記憶チェーン・ゲーム”をする。		△ 教科絵カード ※ 5~7人のグループを作り、縦1列に並ばせる。 ◎ ゲームに積極的に参加しているか。 <行動観察>
Clos i n g	● 振り返りをする。 ○ あいさつ		※ 児童の英語を使おうとする態度や英語についてよかったところをほめる。

5 評価規準

・教科名を聞いて理解し、ゲームに積極的に参加しているか。

6 指導後の反省点等

・英語ノート巻末付録(教科絵カード)を切り取る前に「カードタッチ・ゲーム」をしたので、全員が同じ絵カードを同じ位置に配置することができた。また、[Let's Listen]で使えるように絵カードを切り離す必要があったが、ゲーム形式でしたので時間が有効に使え、また楽しくできた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 友だちの誕生日を知ろう (第 1 時)

第 6 学年

2 使用教材 : 英語ノート L 3 (英語ノート 16~17 ページ)

3 本時のねらい : ・月の言い方に慣れる。
 ・世界の祭り, 日本の季節の行事などに興味を持ち, それらが何月のものなのかを答える。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。		
Review & Warm up	● 月カードを見ながら“Twelve Months”を歌う。 ○ 月カードを黒板に貼り, 歌詞に合わせてカードを指さし, 英語で月を言うことに興味をもたせる。 ● 月の言い方を復習する。 ● 自分の誕生日を答える。		△ CD △ 月絵カード ◎ 英語での月の言い方に慣れ親しんでいるか。
Activity	● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">英語の月の言い方に慣れよう。</div> ○ 個々のイラストについて英語での言い方を簡単に紹介する。 ● 英語ノートp.16の12種類の行事の絵を見て, 何かを答える。 ● それぞれの行事が何月かを考える。 ● 英語ノートp.16の行事の絵と月とを線で結ぶ。		△ 行事絵カード △ 英語ノート △ デジタルコンテンツ ◎ 世界の祭り, 日本の季節の行事などに興味を持ち, それらが何月のものなのかを答えようとしているか。
Activity	○ 英語ノートp.17を開け, それぞれの行事が何月にどこの国で行われるかを, グループで相談して書き込むように指示する。 ○ ALTのスク립トを聞き, 聞き取れた単語を発表させ, 答えを確認する。 ○ 特にオーストラリアのクリスマスについて, ALTが説明を加える。		△ 英語ノート
Closing	● 振り返りをする。		※ 児童の英語についてよかったところを言う。

5 評価規準

・世界の祭り, 日本の季節の行事などに興味を持ち, それらが何月のものなのかを答えようとしているか。
 ・英語での月の言い方に慣れ親しんでいるか。

6 指導後の反省点等

・日本の行事についての確認に時間が取れず, 日本文化への認識を深めるには至らなかったが, ALTの母国であるオーストラリアの話に子ども達は惹き込まれていた。

外国語活動 学習指導案

1 単元名： 友だちの誕生日を知ろう (第3時)

第6学年

2 使用教材： 英語ノートL3 (英語ノート 19 ページ)

3 本時のねらい： ・誕生日についてまとまった話を聞いて、その概要を理解する。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting		○ スモールトークをする。	
Review & Warm up		<ul style="list-style-type: none"> ● 月カードを見ながら“Twelve Months”を歌う。 ○ 月カードを黒板に貼り、歌詞に合わせてカードを指さし、英語で月を言うことに興味をもたせる。 ● グループに分かれて、月カルタをする。 ○ 児童とHRTが“When is your birthday?”と尋ね、ALTが“It's ____.”と答える形でカルタを進めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> △ CD △ 月絵カード ※ 月の正しい発音を示しながらゲームを進める。
Activity		<ul style="list-style-type: none"> ● 本時のめあてを知る。 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">誕生日についての話を聞こう。 <li style="padding-left: 20px;">When is your birthday? It's ____. ○ 英語ノートp.19の健の家族、カレンダーの月日について確認する ● ALTの話を聞いて、英語ノートp.19の口番号を書き入れる。 ○ ヒントとなる単語に着目させる。 ● スクリプトをもう一度聞きながら、答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 英語ノート △ テレビ・コンピュータ・デジタル教材 ※ スクリプトは必要によって繰り返す。 ※ 解答の根拠となった、どんな単語が聞こえたかを尋ね、もう一度スクリプトを聞いて、それを確認する。 ◎ 誕生日についてまとまった話を聞いて、その概要を理解することができたか。
Activity		<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の誕生日を答えたり、友だちの誕生日を言ったりする。 ○ 誕生日の聞き方・答え方をデモンストレーションする。 <li style="padding-left: 20px;">When is your birthday? It's ____. 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 序数の言い方の確認をする。 カードを貼り、視覚的に補助する。 △ 月絵カード・数字カード
Closing		● 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ※ 児童の英語についてよかったところを言う。

5 評価規準

・誕生日についてまとまった話を聞いて、その概要を理解することができたか。

6 指導後の反省点等

・月の名前・序数・家族の言い方とたくさんの要素があって、子どもたちにとって大変だと思われたが、[Let's Listen]を聞く前にしっかり確認をしたので、いくつかの単語から類推して答えを導き出せる子どもたちが多かった。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : できることを紹介しよう (第 2 時)

第 6 学年

2 使用教材 : 英語ノート L 4 (英語ノート 25～ 26 ページ)

3 本時のねらい : ・質問に答えて, 自分のできるところとできないことを伝える。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。		
Review & Warm up	● チャンツ “I can swim.” を言う。 ● 動きを表す言葉を思い出して言う。		△ CD △ 動作絵カード
Activity	● 動作絵カードを使ってカルタ遊びをする。 ○ フライングしないよう, 待つときの手の位置を指定する。		※ ボールを使ったスポーツはplay ~ 楽器を演奏するときはplay the ~ となることにふれる。
Activity	● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">友だちにできることを尋ねたり, 答えたりしよう。 Can you ~? Yes, I can. / No, I can't.</div>		
Activity	○ 英語ノートp. 26の動作のジェスチャーをし, それがどの動作なのかを尋ねる。 ● HRTのジェスチャーを見て, どの動作かを答える。 ● HRTがその動作を実際にできるかどうか, ALTと一緒に尋ねる。		△ 英語ノート △ 動作絵カード ※ 動作絵カードを見せて, ジェスチャーの動作を確認する。
Activity	○ 動作絵カードを見せながら, “Can you ~?” の表現を用いて, その絵の動作ができるかどうかを児童に順に尋ねる。 ● 尋ねられたことができるかどうかを一人ずつ答える。 ● ALTに英語ノートp. 26の動作ができるかどうかを尋ねる。 ○ 絵カードを見せて, ALTに何について尋ねるかを示す。 ● 友だちとペアになって, 英語ノートp. 26の9つの動作ができるかどうかを尋ね合う。		※ 列ごとで質問した後, 1人ずつで質問させる。 △ 英語ノート ◎ できるかどうかの質問に答えようとしているか。
Closing	● 振り返りをする。		※ 児童の英語についてよかったところを言う。

5 評価規準

・できるかどうかの質問に答えようとしているか。

6 指導後の反省点等

・play ~とplay the ~, swim 等の使い分けが曖昧な児童がいたが, スポーツ名や楽器名から質問の内容を理解し, 全員 Yes, I can. / No, I can't. と答えることができていた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 自分の1日を紹介しよう (第2時) 第 6 学年

2 使用教材 : 英語ノート L7 (英語ノート44~47ページ)

3 本時のねらい : ・世界には日本とは異なる学校生活の流れがあることに気付く。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容 ○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting	○ スモールトークをする。(ETの自己紹介を含める。)	
Review & Warm up	○ 動作絵カードを示し、英語の言い方を思い出させる。 ● 【My Daily Routine】を言う。 ● p.47の動作の言い方を思い出し、発音する。 ○ ジェスチャーで補足しながら、既習語を入れた文を言うことにより、児童の理解を助けるようにする。	△ チャンツ動作絵カード △ テレビ・コンピュータ・デジタル教材 ※ 絵カードを見せながら動作の発音練習をさせる。 △ 英語ノートp.47
Activity	● おはじきゲームをする。 ○ やり方をデモンストレーションで示す。 ● 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">外国の小学生の1日の生活についての話を聞き取ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ ・ オーストラリア ・ ドイツ ・ インド ・ ベルギー ・ 韓国 ○ 外国の小学生の1日の生活についての話をする。 ● 外国の小学生の1日の生活を聞いて、わかったことをグループで確認し、ボードに書いて発表する。ポイントとなる単語に注目させる。 ● もう一度話を聞いて確認する。 ● 話を聞いての感想を言う。	△ おはじき ※ おはじきが全部なくなったら、Finished! というように話す。 △ 国旗カード △ ワークシート △ ホワイトボード ※ 各国の話の始めに国旗カードを示し、どの国の話かを確認させる。 ◎ 外国の学校生活の話を読み、日本との違いに気付くことができたか。
Closing	● 振り返りをする。 ● 挨拶をする。	※ 初めて知ったこと、びっくりしたこと、もっと知りたいことなどを発表させる。 ※ 児童の英語を使おうとする態度や英語についてよかったところをほめる。

5 評価規準

・ 外国の学校生活の話を読み、日本との違いに気付くことができたか。

6 指導後の反省点等

・ 小中連携の授業を本単元で行った。中学校の先生から外国の小学校の話をしていただいたので、子どもたちはより関心を持って聞くことができた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : 自分の1日を紹介しよう (第 3 時) 第 6 学年

2 使用教材 : 英語ノート L7 (英語ノート 44~48ページ)

3 本時のねらい :
 ・ 中学校の先生の1日の生活を聞き取り, 中学校生活に関心を持つ。
 ・ 自分の1日の生活を紹介するために生活表を作る。

4 本時の展開

学習過程	学習活動の内容	○ 指導者の活動 ● 児童の活動	※ 指導上の留意点 △ 準備 ◎ 評価
Greeting Review & Warm up	○ スモールトークをする。 ○ ジェスチャーゲームをする。 ● 指導者のジェスチャーを見て, 表している動作を当てる。 ● 動作の言い方を確認し次の6つの動作の発音練習をする。 ・ get up ・ eat breakfast ・ go to school ・ go home ・ take a bath ・ go to bed ● 【My Daily Routine】を言う。 ○ チャンツ絵カードを黒板に貼り, 正しい発音を示す。 ・ study ・ eat lunch ・ clean the room ・ play baseball ・ watch TV		△ 動作の絵カード ※ 動作の言い方は6つにしぼって練習する。 △ テレビ・コンピューター・デジタル教材 △ チャンツ絵カード(英語ノートP. 45) ※ 絵カードを見せながら動作の発音練習をさせる。
Activity I	● 本時のめあてを知る。 <b style="background-color: #e0e0e0;">中学校の先生の1日を聞き取ろう。自分の生活表を作ろう。		
Activity II	○ 中学校の先生(ET)の1日の生活を話す。 ・ I get up at _____. ・ I eat breakfast at _____. ・ I go to school at _____. ・ I teach English at _____. ・ I go home at _____. ・ I read a book at _____. ・ I go to bed at _____. ● ETの1日の生活を聞いてわかったことをグループで確認し, 発表する。 ● 自分の生活表を作成する。 ○ 生活表の作り方を説明する。 ・ 絵カードの中から自分の生活についていくつか選び, ワークシートに貼り付け, 時刻を書き込む。 ・ 自分が表現したいことを表す絵がないときには, ワークシートに言葉(英語または日本語)や絵でかき, 時刻を書き込む。 ・ play baseball ・ play soccer ・ play DS ・ go swimming ● 生活表を見て, HRTの質問に答える。		△ 動作絵カード ※ ETは, 絵カードを見せながら1日の生活を紹介する。特に清掃時間や部活など, 小学校との違いについて説明し中学校生活に関心を持たせる。 △ ワークシート・ホワイトボード ◎ ETのまとまった話を聞き, 関心を持つことができたか。 △ ワークシート ※ 動作の絵カードをヒントカードとして用いる。 ※ HRTは机間指導をし, 児童の質問に答えながら, 生活表を作成させる。 ETも机間巡視をし, 書けている児童に質問をし, 言い方のアドバイスをする。 ◎ 生活表の作り方を理解し, 自分の生活表を作成することができたか。 ※ 児童の英語を使おうとする態度や英語についてよかったところをほめる。
Closing	● 振り返りをする。 ○ 挨拶をする。		

5 評価規準

- ・ 中学校の先生(ET)のまとまった話を聞き, 関心を持つことができたか。
- ・ 生活表の作り方を理解し, 自分の生活表を作成することができたか。

6 指導後の反省点等

- ・ 中学校の先生の話をしっかり聞くことをめあてとしていたが, 聞き取ったことを発表するとき, 意欲的に英語を使って発表しようとする児童もいた。

外国語活動年間指導計画

第5学年（35時間）

津山市立中正小学校

単元	タイトル	指導内容				使用表現
		第一時	第二時	第三時	第四時	
Lesson1	世界の「こんにちは」を知ろう	・世界には様々な挨拶があることを知る。	・挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前を言う。	・友だちと挨拶をし、サイン交換をする。		What's your name? My name is Ken. Nice to meet you. 等
Lesson2	自己紹介をしよう	・好き嫌いについて聞き取る。	・自分の好き嫌いを相手に伝える。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	・自分の好きなものを含めて、自己紹介する。	Do you like apples? Yes, I do. / No, I don't. I like bananas. Thank you. 等
Lesson3	数で遊ぼう	・世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1から10までの数を言う。	・世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1から20までの数と30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100の数を言う。	・いくつか尋ねたり、1から100までの数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友だちと行う。	How many? Five. 等
Lesson4	自分の気持ちや様子を表現しよう	・様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・体調を表す表現を知る。	・友だちの体調を尋ねたり、いたわりの言葉をかけたりする。	・感情や様子を、ジェスチャーを交えて表現し、伝える。	How are you? I'm happy. I have a cold. Take care. What's wrong? 等
Lesson5	いろいろな衣装を知ろう	・世界には様々な衣服があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・自分の意見をはっきり言うことの大切さに気付くとともに、衣服を買う場面で使われる表現を知る。	・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるように声をかけたりして買い物を楽しむ。	・聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。	I don't like blue. 等
Lesson6	クイズ大会をしよう	・英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。	・“What's this?”の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	・“What's this?” “It's a ~.”の表現を使って質問したり答えたりする。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。	What's this? It's a pencil. 等
Lesson7	外来語を知ろう	・外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。	・相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	・欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・作ったフルーツ・パフェを紹介する。	What do you want? Melon, please. 等
Lesson8	時間割を作ろう	・外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	・教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	・作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	・グループで作成した時間割を発表する。	I study Japanese. 等
Lesson9	ランチ・メニューを作ろう	・日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知らせる。	・食べ物や料理を表す語を知る。	・丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	・グループで作成したスペシャル・ランチを紹介する。	What would you like? I'd like juice. 等

外国語活動年間指導計画

第6学年(35時間)

津山市立中正小学校

単元	タイトル	指導内容				使用表現
		第一時	第二時	第三時	第四時	
Lesson1	ALTの先生や友だちと交流しよう	・自分の知っている英語を使って自己紹介したり、ALTの話の聞いたりする。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	・学校周辺の様子をALTに紹介したり、英語で何と云うのかを教えてもらったりして交流する。		What's your name? My name is Ken. Nice to meet you. I like English. 等
Lesson2	アルファベットで遊ぼう	・アルファベットの文字の読み方を知り、アルファベットの読み方と大文字とを一致させようとする。	・アルファベットに興味を持ち、アルファベットの読み方を聞いて、大文字を認識する。	・自らアルファベットの大文字を読もうとし、アルファベットの大文字とその読み方とを一致させる。		What's this? It's __. A~Z 等
Lesson3	友だちの誕生日を知ろう	・日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知る。	・自分の誕生日(月)を言う。 ・序数の言い方を知る。	・誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。	・自分や友だちの家族の誕生日について尋ねたり答えたりする。	When is your birthday? My birthday is March 3rd. 等
Lesson4	いろいろな文字があることを知ろう	・世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには大文字と小文字との2種類があることを知るとともに、21以上の数を言う。	・アルファベットの小文字に興味を持ち、小文字を認識する。	・自らアルファベットの文字を読み、小文字とその読み方とを一致させる。	・身の回りにあるアルファベットの表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字を書き写し、紹介し合う。	What's this? It's __. a~z 等
Lesson5	できることを紹介しよう	・相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	・質問に答えて、自分のできることと、できないことを伝える。	・友だちとどのようなことができるのかを、尋ねたり答えたりする。	・自分のできることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	Can you swim? Yes, I can. / No, I can't. I can swim. / I can't swim. 等
Lesson8	自分の一日を紹介しよう	・英語での時刻の言い方や生活の動作の言い方を知る。	・世界には日本とは異なる学校生活の流れがあることに気付く。	・先生の一日の生活について話を聞き、その概要を理解する。 ・自分の生活に関する表を作成する。	・作成した生活表をもとに、自分の一日を紹介する。	What time do you get up? At 7:00. / I go to bed. 等
Lesson6	道案内をしよう	・町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	・方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	・方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的の場所を教える。	・実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。	Where is the flower shop? Go, straight. / Turn right./ left. / Stop. 等
Lesson7	行ってみたい国を紹介しよう	・世界には様々な英語があることを知る。	・行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。	・行きたい国を尋ねたり答えたりする。	・行きたい国を理由とともに言ったり、相手の行きたい国と理由とを理解したりする。	I want to go to Italy. / Let's go. 等
Lesson9	将来の夢を紹介しよう	・様々な職業の言い方を知る。	・様々な職業の言い方に慣れる。	・将来つきたい職業について尋ねたり答えたりする。	・スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。	What do you want to be? I want to be a teacher. 等